

ひゃくせつふとう

百折不撓 (第3学年だより) * 何度の失敗にもめげずじけず挑戦すること。

第13号

面談ありがとうございました

12月3日からの個人面談には、お忙しい中来校していただき、ありがとうございました。チャレンジする進学先が決まり、お子さんたちも少しずつピリピリした雰囲気を出し始める時期かと思います。そういう時は、付かず離れずそっと見守り、お子さんたちの話を肯定的に受け止め、さりげなくアドバイスする姿勢が私たち大人には求められているのかな、と思います。

教職員一同、そういった姿勢でお子さんたちを見守っていきたくて考えております。よろしくお願いいたします。



アウトプットの習慣を

授業中はもちろんのこと、休み時間にも自習に励むお子さんたちが増えてきています。しかし心配なのは、黙々と問題を解くことだけを学習と捉えてはいないだろうか、ということです。

問題を解いたり、参考書を読んだりして、知識をインプットする過程は確かに必要です。しかし、そのインプットされた知識が自分の頭の中でどう整理されているのかを知る、確かめる過程もまた必要です。試験において必要とされるのは、知識・情報の量だけでなく、与えられた問題に対して必要とされる知識・情報を引き出し、相手にできるだけ分かりやすいように表現する力です。つまり、知識や情報をアウトプットする力も求められているということになります。

よって、インプットする学習に偏ってしまうと、解答を見て「ああ、こう答えればよかったのか。分かっていたのに・・・」という「見たことはあるけど、解けない問題」が続出すると予想されます。

そうならないためには、日ごろからアウトプットする習慣をつけておく必要があると思います。幸い、学校にはたくさんの仲間がいます。その教科が得意な子もいれば、苦手な子もいます。様々なタイプの仲間知識や情報をアウトプットする環境が整っているわけです。

入試が近づくと、学校に行かずに部屋や塾にこもって自習しようとするお子さんも出てくるかもしれません。しかし、そんな偏った学習で本当に大丈夫なのでしょうか？進学してから、あるいは将来社会に出てから、そういった準備の仕方生き抜いていけるのでしょうか？そういった観点から、学校という環境を良い意味で「利用」するよう、指導していきたいと考えています。

体調管理を

12月に入り、寒さが本格化して参りました。学年によっては、ちらほらとインフルエンザにかかってしまうお子さんが出てきています。暖かい服装で過ごす、体を温める効果のある食物を多く摂る、水分補給をこまめに行う、睡眠時間を十分に確保する、など体調を壊しにくい環境をお願いします。



今後の予定

12月13日（金） 面接シート清書提出

12月16日（月）～19日（木） 午前中授業（弁当なし）

12月24日（火） 大掃除

12月25日（水） 2学期終業式

令和2年1月7日（火） 3学期始業式、生徒会本部役員新旧交代式